



第一 ぬまづコミュニティ

沼津第一地区コミュニティ推進委員会広報紙 第39号 平成19年11月1日発行

さあ！ 災害に強いまちづくりに！！ 今がスタートの時です。

防災講演会開催

九月十三日 地区センターにて午後七時より、防災シリーズ第一回として『報道されない現地の実情』と題して、NPO法人日本災害救援ボランティアの会 副理事長兼事務局長 石川 學氏を講師に迎えて、防災講演会が開催されました。



咄嗟の地震に
あなたの行動は
決まっていますか

第一地区コミュニティ
推進委員会
防災指導部 井上 松男

・二〇〇七年能登半島地震
(平成十九年三月二十五日に発生)の死者：一名



講演会で紹介された被災地の現状

(マグニチュード：M6.9、人的被害(重軽傷者：百四十六名)、全半壊家屋：千六百五十三棟)

(五月三十一日現在、奥能登広域圏消防本部調べによる)

震災2.5ヶ月後に輪島市内・門前町内を視察したが、山間部、田園市内部で見聞きした範囲では、中層階の木造家屋が目立ち、全半壊家屋：千六百五十三棟の被害を蒙ったにもかかわらず、死者が一名にとどまったのは、北陸地方市部特有の土着の住民が多く、近隣市民の交流が緊密であり、相互扶助の絆の強さと近隣の共助による賜物であると痛感した。古くから云われている「遠くの親戚より、近くの隣人」が特にコミュニティである。

門前町では近隣住民の協力による倒壊家屋からの救出が数件あった様である。

・二〇〇七年新潟中越沖地震(平成十九年七月十六日に発生)の死者：十一名

(マグニチュード：M6.8、人的被害(重軽傷者：千八百十二名)、全半壊家屋：千六百七十九棟)

震災現地での状況は確認できないが、人的被害・全半壊家屋の被害状況から推定して近隣住民による倒壊家屋等からの救出活動が多数実施された事が推定される。

能登半島・新潟中越沖地震では政府より地震指定された災害規模にも拘わらず、死亡犠牲者の方が非常に少人数であった事は奇跡に近いことである。

これは大都市型の地震と異なり地域住民の旺盛なコミュニティ意識の成果であると痛感した。

被害安全の鉄則：「自分の安全は自身で守る」

地域安全の鉄則：「われわれの地域は地域住民の力で守る」

自助(自分で守る)、共助(コミュニティの結束)、公助(行政による支援)

親密なコミュニケーションは一朝一夕には得られません、日々の会話・挨拶がわれわれ地域を救うでしょう。

県下一斉防災訓練
十二月二日です
第一小学校に集合



県下一斉防災訓練
十二月二日です
第一小学校に集合

みんなで輪になって踊った納涼祭

第一コミュニティ 納涼祭開催

七月八日(日)午後六時より第一小学校校庭にて、納涼祭がワクワク、どきどきの中、開催されました。本年は七日(土)雨の為、八日に順延されました。日曜日の開催となった為、何かいつもの年とちがう、顔があり、多勢の人が集まり、よりいっそう賑やかに始まりました。



ヨーヨーたくさん釣れるかな

盆踊りには、子供達の輪が大きくなつて行き、飛び入りの人達が入り、皆さんの顔が笑いに包まれ、楽しさで満ち溢れて、ワクワクしておりました。白銀町のしやぎり、笛の音太鼓の大きな音、鉦の音、祭りの宴意気は、より盛り上がり、上がって仲見世鳴子隊の踊りで、ますます華やかになりました。世代を越えた人の和が校庭いっぱいになり、これぞコミュニティであると感じられます。周りにあ



シャギリも威勢よく

道喜塚「慰霊祭」が行われました

七月八日、第一小学校北側にある、道喜塚の慰霊祭が納涼祭のオープニングセレモニーとして執り行われました。

道喜塚には「沼津城主 大久保忠佐公」と第一小学校在籍中に惜しくも亡くなられた多くの教職員、そして児童が祀られています。毎年秋に一小PTAによつて慰霊祭が行われてまいりましたが、本年よりコミュニティと共に執り行われることとなりました。

数多くの地域の皆様の参加により、道喜塚の存在を知って頂き、ご供養になりました。

第四回

みんなであそぼ

社会福祉部

加藤 秀典

八月五日(日)十三時〜十五時三十分第一地区センターに於いて社会福祉部主催で開催致しました。

早いうちにチラシポスターの手配を友人に奉仕していただき(二百五十二枚)一小一中各町内会に配布。社会福祉部のメンバーの精一杯の応援とコミュニケーションに奮起し企画は前年踏襲で準備いたしました。経験豊富なメンバーのアドバイスよろしく期待と不安でスタート。

当日は応援のわんあつどち(ボランティアグループ)が活躍してい



出口 昭廣

第六回 沼津市中学校 英語弁論大会 に出場

堂々とした発表でした

九月十三日(木)の午後、沼津教育会館で第五十六回沼津市中学校英語弁論大会が行われ、一中からは、暗唱の部で三年生の野原達矢さんが「After Twenty Years」(二十年後)を発表しました。

野原さんは、夏休み前から準備を進め、夏休み中も何度か登校してスピーチの練習を重ねました。その努力のかいあって、当日は表情豊かに、落ち着いた態度で発表し、見事に優秀賞に輝きました。おめでとうございました。

また、進行役として三年生の磯村勇斗さんと曾我奏子さんが大役を果たしました。



みんなであそぼ なつかしのメロディー

今年第五回になりました。コミュニティの輪の中で、歌えるっていいですね。健康の為にも最高です。是非、お誘い合せの上お出掛け下さい。

- ☆日時…10月27日 18時30分〜20時30分 (ティータイムあります)
- ☆場所…第一地区センター 第1〜4会議室 (電話963-5088)
- ☆指導…(伴奏)上村貞嘉 中央幼稚園 園長先生
- ☆主催…コミュニティ社会福祉部



防犯

地域の子どもは地域で守ろう

第一地区コミュニティ推進委員会
第一地区防犯安全委員会

第一地区コミュニティ祭

本年度は落語演芸

三遊亭楽之介さんが出演
十一月十八日 八時四十五分より
十一時三十分～十二時三十分

恒例「コミュニティ祭」の開催

十一月十八日 八時四十五分より
第一地区センターで開催されます。
ふるつてご参加ください。

◎開会式

八時四十五分～九時
第一小学校体育館

◎展示の部

九時～十五時
地区センター会議室および和室

◎第十回囲碁・将棋大会

十時～十五時
地区センター図書館

◎模擬店・サービス部門

模擬店十一時
センター駐車場広場および
センター内ロビー

◎児童作品展示

九時～
第一小学校体育館

◎演芸の部

九時～十一時二十分
第一小学校体育館

◎落語演芸会

十一時三十分～十二時三十分
第一小学校体育館



三遊亭楽之介



静岡県出身

一九七八年 三遊亭内楽入門

三遊亭賞楽太を名のる

一九八一年 三遊亭賞楽太の
まま一ツ目に昇進

一九八六年 真打昇進

初代三遊亭金也を襲名

一九九七年 金也改め、三遊亭
楽之介を名のる

ひょうひょうとした芸風が持
ち味で、いかにも断家らしい雰
囲気のある高座は、古典落語の
形がくずれていく中で、今は貴
重な存在である。

第二十回 躍雲祭開催

九月二十一日・二十二日 第三十回一中躍雲祭が開催されました

「光を目指して
〜全てを懸けて
駆けめぐる〜」

スローガンのものと一中生の活気に満ちた姿が見られました。

スローガンのものと一中生の活気に満ちた姿が見られました。



二十一日の文化の部吹奏楽、合唱には開場いっばい割れんばかりの拍手を浴び、どの生徒も輝いていて、感動しました。スイスの風景のモザイク画にもビックリです。生徒達が真剣に足り組んだ姿が表れていました。

二十二日の体育の部は晴天の下開かれ、大きくなった中学生を見て走る姿に、父兄達の顔が綻んでいました。綱引きの戦い、最後の種目の全員リレー、どの種目にも真剣な顔立ち、どんどん大きくなって行く生徒達の姿を見て、一中生、ここにありと感動しました。

先生達のご指導のおかげです。感動をありがとう。

心に残った文化の部

望月 佑真

今年の文化の部は、私にとって去年よりいっそう感動的なものになりました。今回のモザイクアートは、技能五輪でスイスを応援するのでスイスの風景をモザイクアトにしました。オープニングが終り、カーテンが開き、あのモザイクアートを見た時の歓声は忘れられません。三年生の合唱では、A・B両方とも難しい曲に挑みました。去年までとは、全く違う曲を選び、本番まで、一生懸命、練習をしました。その結果、今年は、三年が同点で二クラスが優勝という、誰も予想していなかった結果になりました。

そして、わたしにとっては最後のステージでした。今年も、例年より練習時間が少なく、なかなか思うような演奏ができませんでした。しかし、三年生にとって、最後の演奏だったので、一、二年生に呼びかけ、朝練にも早めに行くようになり、その結果、演奏のうまくなり、会場も盛り上がり、とてもうれしかったです。今年の躍雲祭は生徒会役員として活動し、今までとは少し違った躍雲祭となり、いい経験ができました。

感動的な体育の部

中西 匠

体育の部は、ほくにとつて、一生の思い出に近いほど感動的なものになりました。

特に印象に残っているのが、「綱引き」です。なんと、紅組 白組両方とも二勝して、最後一本勝負で戦いの結末が男子にたくされた時でした。そして結果は白組勝利となりました。ですが、その男子女子関係なく、そして学年も関係なく応援しあったり、励ましあったりする姿に、勝敗よりももっと大きな信頼関係を両組とも気付くことが出来たと思います。僕自身にとつても感動しました。

最終的な結果としては、最終種目「全員リレー」で紅組が逆転し、勝利をおさめました。一年生から三年生まで全員が何かに感じるものが必ずあったと思います。一、二年生は、その気持ちをこれからの中学校生活や、来年の躍雲祭に生かして欲しいと思います。最後に、スローガンにもあった「光」一人一人が見つけ出すことが出来たと思います。その「光」というものを大事にし、これからも生活していきたいです。素敵な時間をありがとう、ございました。

第六十回 沼津夏祭り神輿渡御に 第一地区コミュニティ神輿参加

七月二十九日、第六十回沼津夏祭りの華「神輿渡御」に第一地区コミュニティ神輿が参加しました。

本年も暑い日の中を午後五時より上土町沼津東急ホテル前から出発、大手町通りへと向かい仲見世を横切り上本通り町を通り出発地へ戻って来ました。

汗と熱気、勇壮なかけ声、シャン、シャンの三拍子、沼津夏祭りの華である、神輿渡御は沼津の心意気が、伝わって来るものがありました。神輿同好会に負けず、第一地区の若者達の担手、随行者が、一丸となりコミュニティとは、こう言うものであるという姿が表れました。

沼津市の顔である第一地区の参加は、賑いのある、活気の出る、沼津へ向かっていく為には



みんなて気持ちに合わせてワッショイ



毎年、毎年の参加を盛り上げて行きたいと感じられて来ます。ぜひ、来年も参加して、活気 溢れる沼津市の発展に協力して欲しいものです。参加して頂いた各町内の皆様のご協力に感謝いたします。来年も元気に参加して第一地区はここにありとていう姿をお願いします。

神輿パレード実行委員長

井上 松男

確認してください！ プラスチック製容器 の出し方

沼津市では平成十五年より、プラスチック製容器包装の分別回収をおこなっております。

しかし最近、分別状況が悪くなっており、リサイクルに支障が出ています。

プラスチック製容器包装の分別について、再度ご確認していただき、ごみの残らないきれいな、市内に致しましょう。

次の三点を

必ず守ってください。

- ①ライター、かみそりなど危険なものは絶対に入れない
- ②プラスチック製品、わりばし、アルミホイルは入れない
- ③中身を必ず出して、汚れているものは、汚れを落とす



第一地区センター休館日

11月

4(日) 5(月) 12(月) 19(月)
24(土) 26(月)

12月

3(月) 10(月) 17(月) 24(月)
25(火) 29(土) 30(日) 31(月)

1月

1(火) 2(水) 3(木) 7(月)
14(月) 21(月) 28(月)

第一地区コミュニティ 主な行事予定

11月18日(日)	コミュニティ祭
12月2日(日)	防災訓練
12月14日(金)	県下一斉 青少年補導
1月13日(日)	成人式



21世紀の 赤ちゃん こんにちは



21世紀の地域を担う子供たちの誕生をコミュニティのみんなでお祝いしましょう！

該当する方ご連絡下さい TEL 963-5088地区センター迄